

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	オリンピック・パラリンピック教育の推進					所管	教育委員会 指導課	
	行政計画	事業NO.	217	計画事業名	オリンピック・パラリンピック教育の推進	事業の開始・終了年度		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成					[事業開始] 平成 2 6 年度	
		[小 柱] (3) 社会を生き抜く力を育てる教育の推進					[終了予定] 平成 3 2 年度	
		[施 策] ①個性を生かす学校教育の充実						
根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区オリンピック・パラリンピック教育推進校設置要綱					
事業対象	区立小中学校、幼稚園、こども園の園児・児童・生徒							
事業目的	オリンピック・パラリンピックが東京で開催される貴重な機会を活かした教育活動を展開することで、豊かな国際感覚やおもてなしの心を身に付けた、未来を担う子供の育成を実現する。							
事業内容	「台東区オリンピック・パラリンピック教育推進校」を指定し、台東区オリンピック・パラリンピック教育プランに基づく学校の実態に応じた先進的な取組みにより特色ある教育活動を行う。 区内の小中学校から推進校2校を毎年指定。指定期間は2年間。2年目に研究発表を行い区内全校に発信・普及させる。 また、東京都が実施する「東京都オリンピック・パラリンピック教育の推進事業」を活用し、各校園における取組を推進する。							
委託の有無	一部委託	委託内容	講師派遣委託					
補助金の有無	都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	推進校の指定	(校)	4	-	2	2	
		都の指定・事業実施	(校)	37	6	12	37	
	成果指標	推進校児童・生徒数	(人)	1,300	-	686	674	
		都の指定校児童・生徒・園児数	(人)	9,600	2,115	3,846	9,645	
	決算額	(単位：千円)			2,998	(7,049)	(12,418)	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			-	(160)	(178)	
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			-	(721)	(1,521)	
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			-	(400)	(292)	
		総経費			-	(1,281)	(1,991)	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			-	(0)	(0)		
	その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			2,998	5,928	10,605		
	一般財源（区負担額）			-	(1,281)	(1,991)		
前回評価から改善した事項	なし							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	2020年東京大会を目前に控え気運が高まっている今、幼児・学校教育を推進する上で、オリンピック・パラリンピック教育をツールとして活用する絶好の機会であり必要性は高い。					
	効率性	3	各校において作成した執行計画やその進行管理に対して、指導課が必要な経理事務を行うことで、役割分担が整理され効率よく運営することができている。					
	手段の適切性	3	各校において実態に応じた特色ある教育活動をオリンピック・パラリンピックに関連させて実施し、適切に事業が行われている。					
目的達成度	4	都において公立学校等のすべてが事業の対象となったことから、多くの学校でオリンピック・パラリンピック教育を推進することができている。						
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
オリンピズムと学校教育は親和性が高く、スポーツを通じ努力する喜びを感じることや人権尊重・国際理解など普遍的な教育テーマと共通する。教育ツールとしてのオリンピズムの活用は、オリンピック・パラリンピック2020開催を控えた今が絶好の機会であり、本区教育目標と相関させ進めるべきである。						維持		